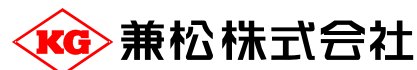


各 位



兼松、小型ロケット分野への進出～ベクターとの業務提携～

兼松株式会社(以下、「兼松」)は、米国の Vector Space Systems(ベクタースペースシステムズ、以下、「ベクター」)への戦略的投資を通じ、小型ロケットおよびその関連サービスに係る業務提携について合意しました。

ベクターは、小型衛星専用ロケットの打上げ、および関連サービスを手がける会社です。

ベクターの CEO Jim Cantrell は、大型ロケット打上げの有力企業である米国 SpaceX(スペース X)の創業メンバーであり、CTO John Garvey はベクターに加わる前に米国 Garvey Space Corp.(GSC)で15年間、小型ロケットの研究・開発を行ってきた実績があります。ベクターは、そのGSCの知的財産・資産・人材を2016年に引き継ぎ、2018年からの本格的な小型衛星専用ロケット打上げサービスの開始に向け開発を進めており、既に米国 NASA を始めとして数カ国で受注を獲得するなど、注目を集めています。

昨今は、小型衛星の打上げ需要が高まっておりますが、中・大型衛星打上げ時に大型ロケットの空きスペースに小型衛星を搭載して打上げているのが現状です。そのため、打上げ時期や宇宙に衛星を投入する軌道が制限されるといった課題を抱えています。そのような中、ベクターは、2018年以降、10kg～100kgの小型衛星に特化した小型ロケット打上げサービスの提供を開始する予定です。これにより、希望する時期に所望の軌道へ安価に小型衛星を打上げる事が可能となります。ベクターでは、これに加えて、ギャラクティックスカイと呼ばれるバーチャルマシーンを用いた衛星シミュレーションサービスも提供します。

兼松はこれまで欧米衛星メーカー、衛星搭載機器メーカー、衛星追跡管制システム会社、ロケット追尾システム会社等との対日販売取引を通じて宇宙ビジネスの経験を培ってきました。今回新たにロケット打上げサービスに参入することにより、宇宙関連ビジネスにおける顧客基盤の相互活用などを通じ、シナジーを創出して参ります。また国内外に有するネットワークも活用し、宇宙関連ビジネスを拡大して参ります。

<Vector Space Systems の概要>

設立： 2016年3月

CEO： Jim Cantrell

所在地： アメリカ合衆国アリゾナ州ツーソン

事業内容： ロケット開発、衛星シミュレーション開発、ロケット打上げおよび関連サービス販売

以 上

【お問い合わせ先】

兼松株式会社 広報・IR室

電話： 03-5440-8000